

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体				
中区まちなかギャラリー事業			中区役所企画総務課				
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4		
公共施設への落書きを防止し、美しいまちなみを創ることを目的とする。また、中区生徒の作品発表の場を提供するとともに、広く区民にその作品を鑑賞いただくことにより、区民等の文化芸術に対する関心を高める。	中区内市立中学校の生徒が作成した絵画作品を加工したものを中区内の公共の場へ設置する。	①絵画を展示している場所の落書きの件数	0件	0件	0件		
		②市民アンケート調査で文化芸術への関心が高まったと答えた割合	—	—	100%		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	本事業は、子どもたちの絵画をまちなかに展示することで、落書き防止と地域的美観を向上し、まちに潤いを与えることを目的に実施。	○	子どもたちの絵画の制作については、学校園の協力が必要である。また、今後設置箇所の増設を検討する際には地域住民の協力は欠かせないものとなる。	◎	注意書き看板等でなく、子どもたちが描いた絵画を使用することにより落書き防止を訴える点で効果的である。また、子どもたちにとっては自身の作品が展示されることにより自信が付き、今後のモチベーションの向上にも繋がると考える。	○	落書き被害のある場所に、子どもたちの絵画が展示されることにより、落書き防止の効果が期待でき、落書き消去にかかる経費の削減が図れる。
⑤自立発展性		総合評価					
○	現在は深井駅高架下橋南側の1箇所のみの実施となっているが、今後、地域からの要望があれば学校園等との連携により絵画の展示場所が地域の中に広がっていくことが期待できる。	○	絵画展示後の落書きは発生しておらず、設置前と比べ落書き防止効果が顕著に表れている。また、公共の場を作品発表の場として提供することにより、子どもたちの日頃の活動を知ってもらえることに加えて、通行人にも身近に芸術とふれ合える機会を与えることにより、アンケートでも文化芸術への関心が高まったほか、好意的な意見が多かった。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	以前より展示作品の減少が課題となっていたため、今年度より展示条件を見直し、作品数を5作品から12作品へ増やしたことにより、より明るい印象となった。次年度以降も作品の展示を行い、落書きを防止するとともに一人でも多くの市民に生徒の作品を立ち止まって見ていただけるよう、中区まちなかギャラリーの存在についての認識を広げていく。						